

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		学力・授業力向上推進事業費 [習熟の程度等に応じた少人数学習指導員配置事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	18
事業の種別		☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名		教育指導 課 指導 係 課長名 小野 隆一									
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1 - 1	
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)		31	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	主に小学校1、2年生及び中学校1、2年生				児童生徒数 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	児童・生徒の授業でのつまずきを防ぎ、基礎学力の定着を図り、基礎的な学力向上を図る。				実態調査による「算数(数学)」において、自分の学力に応じたコースに分かれた授業を受けることについてどう思いますか」について「よい」「どちらかといえばよい」と回答した数値(%) → ㊦ 算数：小学5年生、㊩ 数学：中学2年生						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	小学校全教科及び中学校数学・英語の教員資格を有する者の嘱託員(学習指導員)として委嘱し、各小・中学校の少人数学習指導を行っている。 小学校は「国語」「算数」のうち1教科、中学校は「国語」「数学」「英語」のうち1教科の授業において少人数学習を行っている。				→ ㊦ 配置校数、㊩ 配置時間						
	対象指標		①の数値	人	過去2年間の実績		当該年度		成果目標		
	成果指標		②の数値	%	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標		
3 経費	目 標		②の目標値	%	85	85	85				
	目標値設定の考え方										
	成果指標数値を小学校及び中学校において、85%以上を目指す。										
	活動指標		③の数値	㊦校 ㊩時間	㊦15 ㊩11,564.5	㊦12 ㊩10,251	㊦14 ㊩10,657.5				
3 経費	事業費(実績)		円	26,247,364	24,857,055	34,979,773	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	26,247,364	24,857,055	34,979,773					
		特定財源(国・都・他)	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.04	0.04	0.04					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	332,400	335,200	330,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	26,579,764	25,192,255	35,309,773						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成18年度								
	(2) 環境の変化 特になし										

